認知症を持つ人とのかかわりを学ぶオンデマンドVR

学習目標

・ユマニチュードの4つの柱（見る・話す・触れる・立つ）と、コミュニケーション上の位置づけを説明できる。
・認知症を持つ人の体験（例：幻視など）に対し、内容の真偽を決めつけずに、まず感情と安心に焦点を当てた声かけができる。
・ケア提供者側の制約（時間、業務、焦り）を踏まえつつ、相手の尊厳を損ねない関わりを検討できる。

課題提示

以下の動画（約15分）を御覧ください。360度動画は VRゴーグルは使用せず
スマートフォン/タブレット端末/PC での閲覧で問題ありません。

認知症を持つ人とのかかわりを学ぶオンデマンドVR：
https://postcorona.oumed.okayama-u.ac.jp/movie/4148.html

課題

1. シーン1をみて感じたことを 200 - 400字程度で自由に記載をしてください。
2. シーン2をみて、シーン1を見たときの感想を踏まえたうえで、どのように感じたのか、200 - 400字程度で記載をしてください。
3. 以下のいずれかのテーマを一つ選び、レポートを作成してください（様式自由、400字以上）。調べ物や読みやすさ向上のために生成AIを使用しても構いません。使用した場合はどの生成AIを使用したか記載をしてください。また参照した文献を1つ以上必ず記載してください。文献の種類は学術、公的機関等問いませんが、参照先の内容の正誤は各自で判断してください。

以下から1テーマ選んでください。

•テーマ1 「パーソンセンタードケア」からみて今回のシーンはどう対応するのが適切か
•テーマ2 「ユマニチュード」からみて今回のシーンはどう対応するのが適切か

※提示された文献情報が存在しないもの、あるいは、全くの別の内容の文献である（明らかに内容を見ていないと推察される）等と判明した場合、このレポート提出は「無効」となります。